第 １８ 期 決 算 公 告

広島県広島市南区宇品神田二丁目９番４号
株式会社ビー・スマイル
代表取締役　米﨑　宏一

貸 借 対 照 表

（2019 年 3 月 31 日現在）

（単位：千円）

資　産　の　部		負　債　の　部	
科　　目	金　　額	科　　目	金　　額
流動資産	**26,862**	**流動負債**	**62,947**
現金及び預金	697	一年以内返済関係会社長期借入金	5,040
未収入金	44	一年以内短期リース債務	751
売掛金	23,632	預り金	2,364
前払費用	89	未払費用	4,794
関係会社短期貸付金	2,371	未払法人税等	182
その他流動資産	26	関係会社短期債務	313
		関係会社短期借入金	45,000
固定資産	**112,490**	賞与引当金	4,500
有形固定資産	**108,773**		
建物	142,315	**固定負債**	**27,354**
建物付属設備	88,236	関係会社長期借入金	17,240
構築物	5,414	長期リース債務	1,378
工具器具備品	1,175	預り敷金	8,736
減価償却累計額	△128,369	**負 債 合 計**	**90,301**
無形固定資産	**1,972**	**純 資 産 の 部**	
ソフトウェア	3,480	**株主資本**	**49,051**
減価償却累計額	△1,508	資　本　金	50,000
投資その他の資産	**1,744**	利益剰余金	△948
長期前払費用	166	その他利益剰余金	△948
長期繰延税金資産	1,534	繰越利益剰余金	△948
その他投資	44	**純 資 産 合 計**	**49,051**
資産合計	**139,352**	**負債・純資産合計**	**139,352**

個　別　注　記　表

（２０１８年４月　１日から
２０１９年３月３１日まで）

Ⅰ.　重要な会計方針に係る事項に関する注記

１．固定資産の減価償却方法

（１）有形固定資産（リース資産を除く）

法人税法の規定による定率法（ただし、１９９８年４月１日以降取得の建物〔建物付属設備を除く〕および２０１６年４月１日以降取得の建物付属設備、構築物については定額法）を採用しております。

（２）リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法を採用しております。なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が、２００８年３月３１日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

２．引当金の計上基準

賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額のうち当期において負担すべき額を計上しております。

３．収益および費用の計上基準

収益は実現主義により、費用は発生主義により計上しております。

４．その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜き方式によっております。

Ⅱ　表示方法の変更

貸借対照表

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第 28 号平成 30 年 2 月 16 日）に伴う、「会社法施行規則及び会社計算規則の一部を改正する省令」（法務省令第５号　平成 30 年 3 月 26 日）を当事業年度から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示する方法に変更しました。

この結果、前事業年度において「流動資産」に区分しておりました「繰延税金資産」（前事業年度 1,534 千円）は、当事業年度においては「投資その他の資産」の「長期繰延税金資産」1,534 千円に含めて表示しております。

Ⅲ　当期純損益金額

当期純利益　△1,472 千円

（注）記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。